

平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
教養	教養 II	1	2-1~2-A

1. 学習の到達目標

- ・日本の伝統文化を理解し、和の作法を学習する事により、物を大切にすることを育む
- ・気持ち、思いやりの心を持ち接することの大切さを学ぶ
- ・他人を思いやる心を育て、人権意識を高めるように努める

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	和室でのマナー（襖、障子等） 食文化とマナー ・世界の料理・日本料理（中国料理） のマナー ・パーティーマナー 「実技テスト」 履物のあつかい 「期末考査」	・和室での立ち居振る舞いがスムーズにできる ・他国の食事のマナーを理解し、食事のマナーを身につける ・食事を通して伝承されてきたマナー、日本人として自国の食文化、箸の使い方などを知る ・食文化とマナーについて理解しているか確認する ・履物のあつかいがスムーズにできる
2 学 期	フォーマルマナー ・慶（結婚）のマナー ・訪問とおもてなしのマナー ・お見舞いのマナー ・贈答のマナー ・弔事のマナー 「実技テスト」 弔事（神式）のマナー 「期末考査」	・知っておきたい慶事・弔辞のマナーを理解する ・贈り物のマナー、お見舞いのマナーについて理解しているか確認する ・人を尊敬し、思いやりの心を持ち、感謝の気持ちを言葉や態度に表わせるように、基本的なマナー・エチケットを身につける
3 学 期	茶菓のマナー [お抹茶] 手紙のマナー（礼状の書き方） 面接の受け方 「学年末考査」 和食マナー	・抹茶の立て方等、作法を学ぶ ・手紙のマナー、敬語について理解しているか確認する ・面接の流れを理解する ・食文化のマナー、面接の受け方について理解しているか確認する ・和食の基本的マナーを学ぶ

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査、提出物、授業態度等による
------	-----------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	教養に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている	教養に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている	家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する	家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、家庭生活の意義や、役割を理解している

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	私たちのエチケット（教育図書（株））
副教材	ビジネスマナー集